おおの

### 議会だより

No. 8 7

平成3年4月25日 発 行

大野市議会事務局



昨年の2月から工事が進められていた「大野市エキサイト広場総合体育施設」が完成、4月17日落成式が行われました。市民の皆さんの健康増進、スポーツ・レクリエーションの場として十二分な活用が期待されています。

### 第255回 3月定例会

### 34議案を可決・同意

### -- 市会案2件も可決--

第255回 定例市議会は3月7日招集され、会期を20日までの 14日間と定め、理事者から提出の議案34件と市会案2件を審議 しました。

初日には、市長の所信表明に引き続き、平成3年度予算案を はじめ提出議案について、提案理由の説明が行われました。

11日は代表質問、12、13の両日は一般質問が行われ、質問終 結後「交通対策」「水行政対策」「総合病院対策」の各特別委 員会が設置され、委員の選任が行われました。

最終日には、理事者から提出された議案34件を可決・同意。 また、議員提案による「育児休業法の制定に関する意見書」「日 朝国交正常化の早期実現を求める意見書 | の2件も全会一致で 可決しました。

市民の皆さんから出された陳情の結果は別掲のとおりです。

### 審議日程

7日 本会議(会期の決定、議案 上程、提案理由の 説明)

8日 休 会

9日 休 会

10日 休 会

11日 本会議 (代表質問)

12日 本会議 (一般質問)

13日 本会議(一般質問、特別委 員会の設置、追加 議案上程、提案理 由の説明、陳情上 程、各案件委員会

付託)

14日 委員会(建設·產業経済)

15日 委員会 (建設・産業経済)

16日 休 会

17日 休 会

18日 委員会(教育民生·総務)

19日 委員会(教育民生·総務)

20日 委員会 (建設、教育民生)

本会議(各委員長報告、質 疑・討論・採決、 追加議案、市会案

上程、採決)

第二十号	第十九号	第十八号	第十七号	第十六号		第十五号	第十四号	第十三号	第十二号	第十一号	第十号	第九号	第八号	第七号	第六号	第五号	第四号	第三号	議案番号	議
一部を改正する条例案大野市公共施設の使用に関する条例の	を改正する条例案 大野市職員の旅費に関する条例の一部	改正する条例案教育長の給与等に関する条例の一部を	を改正する条例案 大野市長等の給与に関する条例の一部	を改正する条例案報酬及び費用弁償に関する条例の一部	市特	条例の一部を改正する条例案議会議員の報酬及び費用弁償に関する	る条例の一部を改正する条例案大野市一般職の職員の勤務時間に関す	大野市石灯籠会館設置条例案	理運営基金設置条例案大野市エキサイト広場総合体育施設管	置条例案	する条例案平成三年度大野市税の納期の特例に関	平成三年度大野市水道事業会計予算案	別会計予算案平成三年度大野市農業集落排水事業特	理事業特別会計予算案平成三年度大野市南部第二土地区画整	計予算案平成三年度大野市簡易水道事業特別会	算案平成三年度大野市老人保健特別会計予	別会計予算案平成三年度大野市国民健康保険事業特	平成三年度大野市一般会計予算案	件名	案等の審議結
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決		原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	結果	果

# 市政をきくした。一般質問から代表・一般質問から

である。

ながら最善の努力していく所存 的に向かって、議会の指導も得 だからにはできるだけ所期の目 業に取り組んいるが、取り組ん

## 長の政治姿勢とその

心構えについて 市

年になろうと思う。 くの難問を解決できるか否かの 市長が方向を示し、 今年度は、市政における多 步一步

治的判断である。 ことも必要で、それが市長の政 場合によっては方向転換する

解決される。

前進することによって諸問題が

を処理する上で必要と思うが このことは、特に重要な課題

に、どれぐらいできるのか、市 等の諸問題について、今年度中 どうか。 また、リゾート、 中部縦貫道、ふれあい公園 病院、下水

申請の手続きを行う予定である。 向けて精力的に対処していく。 り、安定した雇用の場を確保す な医療が提供できる病院建設に セクターの設立準備と、許認可 る意味で開発の主体となる第三 産業の創出と地域の活性化を図 リゾート開発事業は、新しい 連携を保ちながら高度で公正 病院については、 各福祉施設や各種機関と 市内の民間

的な市民生活の確保と水質の汚 的に整備を進めたい。 濁防止を図るために、 歳月を要するが、 下水道事業は、多額の経費と 衛生的で近代 年次計画

情を行っていきたい。 いる。市では、大野・和泉間の 地交渉に取り組むことになって に入り、終わったところから用 の計画では今年度から測量調査 中部縦貫自動車道は、 ート決定を早期に行うよう陳 建設省

聞いている。 に一千五百万円が計上されたと 技場を主体としたメインスタン ド管理施設に八億円、用地買収 年度に県の事業として、 奥越ふれあい公園は、 陸上競 平成三

### ついて 大野市の未来像に

長の心構えを伺いたい。

現在、いろいろと大きな事

うか は、 問 めることが重要と考えるが 0) り」を効果的に推進するた 現に向けて、 確立と、民間活力の導入 官民一体となった執行 当市の発展する未来像 「新しいまち

は極めて大切である。 ためには、行政執行体制の整備 夢のあるふるさと大野」を築く 活用についても伺いたい。 また、文化財の保存、 「豊かで住みよい、潤いと 継承、

サービスの向上に努力していき もと、事務処理の効率化と住民 方としては、全庁体制の確立の 行政執行面での未来像の考え

界がある。民間には素晴らしい と考えている。 うしても民間活力の導入が必要 あるまちづくりのためには、ど ノウハウと力があるので、活力 また、行政にはその執行に限

いろの分野で民間の協力を得て 今後リゾートをはじめ、いろ

連携を図りながら、広域的な判 必要であり、 つのプロックとして、相互に 併せて、 広域行政での対応も 少なくとも奥越を

文化財については、

	The state of the s	
の一部を改	正する条例案	第二十六号
条例案	設置条例の一部を改正する条例大野市立農村集落多目的共同利	第二十五号
部を改正す	<b>大野市児童館設置条例の一</b>	第二十四号
一部を改	する条例案 大野市立保育所設置条例の一部を改正	第二十三号
一部を改正	する条例案 大野市体育施設設置条例の一	第二十二号
4条例の一	を改正する条例案 大野市公共施設使用料徴収条例の	第二十一号

第三十 第二十七号 第二十九号 第二十八号 号 辺地総合整備計画の変更について 大野市営住宅管理条例の一部を改正す 大野市企業管理者の給与及び旅費に関 平成二年度大野市一般会計補正予算 する条例の一部を改正する条例案 (第七号)案

第三十一号

第三十二号 平成二年度大野市国民健康保険事業特 別会計補正予算(第三号)案

第三十三号 別会計補正予算 (第三号) 平成二年度大野市農業集落排水事業特 平成二年度大野市南部第二土地区画整 理事業特別会計補正予算(第三号)案

第三十四号 平成二年度大野市水道事業会計補正予

原案可

决

原案可決

原案可決

同

意

第三十六号 第三十五号 ついて 固定資産評価審査委員会委員の選任に 監査委員の選任について

市会案第二号 市会案第一号 育児休業法の制定に関する意見書 日朝国交正常化の早期実現を求める意

原案可

決 意

司

原案可決

切に引き継いでいく責務がある。 産として将来に向けてこれを大 先人の遺 最善を尽くしていく。 ちた人づくりにも役立つことを 考慮し、その保存には今後とも の理解を深め、進取の気象に満 遺産の公開を通して、 郷土

必要がある 断で当市の未来像を考えていく

(3)

原案可決

原案可決

原案可決

原案可

决

原案可決



### 負担について 路 線バスの確保と地 元

必要であるが、その確保を口実 りのためにも路線バスの存続は と考えるが、どうか。 に地元負担を強制すべきでない 園児や児童の通学、 お年寄

困難となってきている。 減少し、バスの運行経営が大変 め、路線バスの利用者が大幅に 答近年、生活様式の向上に伴っ て自家用車の普及が増加したた

とで理解を得ている。 バスの運行を確保していくため とともに、地域住民の足として は欠かすことのできない機関で 免許を取れない老人や児童等に 反面、 地元にも一部負担を願うこ バス路線は自動車運転 その利用促進を図る

分地元と協議しながら取り組ん おける路線バスの運行には、十 でいきたい 今後も、この過疎地や辺地に

## 水資源対策について

得できるとのことであるが、こ を取り入れている。 河道維持用水を除くすべての水 れだけの水量で水資源対策が済 んだということにはならない。 (ぜき)から○・一トンの水が取 現在、北陸電力は農業用水、 平成九年には鳴鹿の中流堰

渉をしたことがあるか。 地域であるが、大部分が発電用 る大事な水の確保に二トンぐら ている 水されるために、河道維持用水 水として直接下流の発電所に送 いの水利権を、市は北電から買 (かん)養に大きな影響を及ぼし 取ったらどうか。そういう交 減少をきたし、 河川を擁する水利に恵まれた 市民の生活・生命が懸ってい 当市は九頭龍川・真名川の 地下水の涵

問

水が不足するので、さらに国や が、これだけの水量では克雪用 トンの水が確保されており、ま 水利権を市が得ることになった た、平成九年には〇・一トンの 現在、河道維持用水として二

> 等について強く要望していく。 県に対してこの実情を訴え、既 の実情にあった用水確保につい 今後も北陸電力に対して、当市 ることは、非常に困難であるが 存水利の再調整、新規水源開発 て引き続き交渉していきたい。 発電用水を克雪用水に転用す

点において再調整も含め、各自 れることになっている。その時 九頭龍川の発電用水が見直しさ 階である。また、平成七年には かわるガイドラインを検討し、 要望活動を継続していく。 治体が共同歩調で建設省に陳情 水利制度の確立を進めている段 現在、建設省で克雪用水にか

### 構想について 篠座神社周辺 の整備

整備構想と着工予定時期を聞き 辺についても一つの観光ゾーン 備計画と並行して、篠座神社周 亀山周辺等の観光拠点施設の整 で示している七間、寺町および として位置付けているが、その 「大野市街地整備基本計画

答 観光ゾーンとは約一・五キロ離 れているので、自動車またはサ えている。 イクリングによるアクセスを考 篠座神社周辺は、まちなか

観光素材としては、 篠座神社

> 景整備、サイクリングロード沿 いのポケットパーク、 容は、篠座神社・本願清水の修 本願清水、右近次郎遺跡、 ふれあい公園等があり、 駐車場整 整備内

年度は未定である。 協議会で検討中であり着工予定 この構想は、 市街地整備推進

### センターについて (社)大野シルバー 人材

千五百二十三万余円と、順調に は会員数二百二十三名契約高七 であったが、平成二年度決算で 名契約高一千八百二十六万余四 した(社)大野シルバー人材センタ ーの設立当時は、会員数百五十 ①昭和六十三年五月に設立

> 他市のセンターと比較すると、 六・四%と非常に低い。 しかし、その公共事業比率を

分調査し、検討を進めたい。 が必要となるので、平成三年度 ターはその要件は満たしている。 することなどが要件で、当セン 延人員六千人以上、法人格を有 に移行する考えはないか。 るとともに、国庫補助対象施設 るために、公共事業比率を高め において他市の運営状況等を十 と、市は一千万円を超える負担 当センターをさらに充実させ しかし、国庫補助対象になる 国庫補助対象になるために 会員数百五十名以上、就業

やすとともに、 高めるために、今後庁内関係課 において可能な範囲で発注を増 も要請していきたい。 当センターの公共事業比率を 他の公共機関に



高齢者対策として注目される シルバー人材センタ

### 企業について 中据」 に進出する

内容を伺いたい。 について、相当具体化している と聞いているが、その企業名と ②その企業の公害対策につい 具体的な施策があれば伺い ①中据地係に進出する企業

用地提供の依頼があった。 たい旨の話があり、 動車部品工場から当市に立地し 答①昨年の六月、 市としては、すぐに対応でき 愛知県の自 約一万坪の

があり、 中据地区より用地提供の申し出 たところである。 る用地がなく苦慮していたが、 地権者全員の同意を得



加工である。 ト加工、エンジン用コンロット コン用のコンプレッサ、 シャフ

名を予定している。 平成四年四月で、雇用者数三十 約十一億三千万円、操業開始は 計画によると、設備投資額は

社である。 企業名は、T・N・W株式会

は伴わない。 式であるので、地下水への危険 また部品の洗浄はエアー洗浄方 となる有機溶剤は一切使用せず、 ②この工場では、 地下水污染

思う。しかし、 全を期したい。 式であるから地下浸透はないと 油を若干使用するが、 公害対策には万 循環方

ついて 納税義務のPRに

あるが、 とによって、 数々の行政サービスを受けるこ である以上、納税義務は当然で 住民に負担させようとするもの しているのか ①市税は、 そのPRはどのように 行政経費の一部を 市民が市の行う

②納税貯蓄組合の数はどれだ

替納税制度の利用についてどう ③滞納防止策の一つとして振

考えるのか ①税務署、 県税事務所、 2

> の外、 めている。 えて市民の納税意識の普及に努 体になり、 税に関係する各団体と一 あらゆる機会をとら

数は二百九組合である ②現在、 納税貯蓄組合の 設立

度の役割を十分果たしているの ③納税貯蓄組合が納税振替制 導入は考えていない。 現在のところ納税振替制度

### 高齢化社会の福祉対策 ついて

えている。 平均の一一・四%をはるかに超 二年四月一日現在で、全人口の 六・四%を占めており、 当市の高齢者人口は、 全国 平成

解消して福祉対策課を新設する 備え、現在の担当係を発展的に 祉施策を基本として取り組んで れまで、施設福祉および在宅福 考えはないか。 目前に迫ってくる高齢化社会に て通れない大きな問題であり、 今後、老人福祉の問題は避け 高齢化対策については、こ

ている。 施策を最重要課題として推進し 昨今、 国・県・市は在宅福祉

の検討も必要と考える。 ており、 一方、 今後は一部機構の変更 事務量もかなり増大し

して、平成三年度予算における

第三次大野市総合計画に関

陳情五号	陳情四号	陳情三号	陳情二号	陳情一号	番号	陳
る陳情書 を求める意見書採択に関す 日朝国交正常化の早期実現	原発事故に関する陳情書	市道の編入について	市道の編入について	関する陳情書制定を求める意見書採択に実効ある育児休業法の早期	件名	情の審議
在日本朝鮮人総聯 香質長 金 在善 野員長 金 在善	議長 山本 正雄 外二名	竹内善忠 外四名	竹内善忠 外七名	会長 佐々木哲男 会長 佐々木哲男	提出者	結果
採択	審 継査 続	採択	採択	採択	結果	

### について 第三次大野市総合計画

持ちがあるか。 いると思う。付近の土地が売り の観光ルートとして最も適して 清水」から「義景」までが市内 ルートの整備については、「御 ているか。そのうち特に、 成三年度の予算にどう反映され に出ているが、 第三次大野市総合計画は平 市は取得する気 観光

> り約六十%増の措置を講じてい して老人保護、在宅老人福祉、 対応については、高齢化対策と 老人クラブ活動促進事業、ディ・ の活性化事業には前年度予算よ ービス事業など、また商工業

ている。 などにきめ細かな予算編成をし 周辺整備、 園の県工事負担金、 策ルート整備、奥越ふれあい公 その外、亀山公園の整備、 学校教育施設の充実 総合体育館

空き地の取得は、 の関連の中で検討したい。 義景公園の整備として周辺の 観光ルートと

IDI 幅広く利用されている市立集会所

ついて 市立集会所の委譲に

設置され、 問 市立集会所は現在十四カ所 市が管理・補修をし

補修をしている。 ターはその集落で建設し、 管理·

譲した方が行政上公平であり、 につながるものと考えるが、ど として、さらに自治活動の発展 市民のコミュニケーションの場

答

市立集会所は、

地域の生活

現在の市立集会所を地元に移

ている。 方で、村部の生活改善セン

をはじめ、 組織し、代表の 所運営委員会を みとなった。 を整備し、あと までに十四カ所 目的として現在 管理者と委託契

各種団体の会合 区域住民の各種 理運営に当たっ 約を締結して管 集会はもとより、 施設の利用は、

成など、 施設の委譲については、 利用率も年々増加している。 分検討したい。 幅広く活用され、その 文化講座、 子供会育 今後十

考え方について 福祉施策の具体的 な

り」を忘れてはならず、 するに場合にも「基本に福祉あ の整備をすることが、 が気軽に外出できるよう、環境 わる者の責務と考える。 福祉のまちづくりを目指す具 や体にハンデを持った人たち どのような施策を計画実施 行政に携 お年寄

> 体的決意を伺いたい。 えている 設改善を急がねばならないと考 障害者や老人の方々に対する施 の推進」を基本理念として今後 「人にやさしいまちづくり

び福祉の向上を 文化の発展およ

点検活動を実施した。 となり、建物、道路等、 先般、 社会福祉協議会が中心 地域の

運営は、集会

一カ所を残すの

ている。 など、障害者や老人の方々に温 たい。平成三年度予算で、庁舎 ところから積極的に改善を進め 早急に庁内で調査して、できる かい対応をしていきたいと思 正面玄関を自動ドア方式にする その点検結果の報告に基づき

ついて 指名業者の資格審査に

その審査に必要な添付書類のう を厳格に行うとのことであるが、 する工事の指名業者の資格審査 いている。 納税証明書は県税のものと ①平成三年度から市が発注

場合についても伺いたい。 県の資料を参考に行ってきた。 ので、過年度分の滞納がある場 書を添付すべきではないか。 ②現年度分を完納しているも これは、 また延滞金を滞納している ①これまでの資格審査は、 むしろ市税の納税証

県下一の農業都市実現

現を目標として掲げているが、 問 ①産米の付加価値を高める方策 構想では、 第三次大野市総合計画基本 県下一の農業都市実

②有機農業振興による米づくり について

要で、現在、 答①当市の気候と風土、 具体的な施策を伺いたい。

今後の方策を検討中である。

において予算化した。 る堆肥施設の整備を平成三年度 尿を有効活用して耕地に還元す がら等の素材や家畜の糞 (ふん) 肥の施肥が効果的と考え、もみ ②土づくりは有機質堆(たい)

者から提出された申請書を審査 クを行い滞納者は指名から除外 する際、市税全部の納税チェッ しかし、平成三年度からは業

滞納のある業者には指名規制を することも検討する方針である。 していきたいと考えている。 ②過年度、現年度を問わず、

問

ための施策について

③減反耕地の活用方法について について 進協議会で農業の現状を点検し 的条件を生かした農業振興が重 農業農村活性化推 地理

る地域特産作物に対し奨励措置 ③これまで転作田の活用によ

農園、体験農業の面にも努めて いきたい。

契約の公表について

載し公表してはどうか。 事等の入札状況を市の広報に掲 点から、市が発注する委託や工 設けて公表している。 答 現在、市の入札結果につい ては市庁舎内に専用の掲示板を ガラス張りの市政という観

は広報紙でも公表するよう前向 規模以上の大きな契約について 生じないためにも、今後は一定 載することは紙面上からも困難 多く、広報紙にそのすべてを掲 きに検討したい。 である。しかし、市民の疑惑が 工事等の契約件数は、 非常に



### 三特別委員会 会置を

病院問題について

体的には、

企業活動ができるところでなけ

立地企業は、工業圏の中で

二年一月から月二

回の土曜閉庁

を行っている。

ばならないと考えている。具

問

済生会病院誘致を断念した

上あること。

第一 一団地の面積が三ha

以

四十二時間で、週休二日制の完

市職員の週平均勤務時間

の移行がスムーズに実施できる 全実施を二、三年後に控え、そ

監査委員(議会選出)の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の

登氏 (63歳)

一 氏 (64歳)

(上打波17-15)

選任に同意

(上丁21-68)

院対策特別委員会を設置しまし 院の建設促進を図るため総合病 行政対策特別委員会を、総合病 地下水保全対策等を図るため水 事業および水資源対策ならびに 対策特別委員会を、上・下水道 路線バスの存続を図るため交通 期着工ならびに越美北線および 備促進、 国道一五七・一五八号線の整 中部縦貫自動車道の早

建設の具体性を聞きたい。

答 基本的にはこれまで議会で

ること。

第五

団地造成等が容易であ

しない。医師会との話し合い、

に取れること。

えである。

の短縮に向けて努力していく考

幅

飯 田 敬

に心掛け、より一層実労働時間

第四

開発行為の許可が簡便

単に口先だけでは市民は納得

きないのかを聞きたい。

であること。

は民間の病院でなければ誘致で 的病院を誘致できるのか、また と公表したが、今後本当に公立

が便利であること。

直し、OA機器の導入、効率的 よう、今後さらに事務事業の見

地形、

地質に優れ交通

第三 水の供給、

処理が可能

な事務運営、

職員の適正配置等

のとおりです。 各特別委員会の委員構成は次

◎は委員長 〇は副委員長

く協力を求めていく。 の終わった段階で、 をしていく。

具体的には、四月の統一選挙

県関係に強

して確保していく所存である。 したところを、今後工業用地と の誘致を実現すべく最善の努力

あると考えている。

動への参加等の面から必要と考

などが工業団地構想の骨子で

健康管理、

家族の慰安、

地域活 職員の

縮の問題にとどまらず、

このことは、単に労働時間短

これらの問題がほとんど合致

答弁しているとおり、

公的病院

村西 利栄 源治 〇竹内 松井 治男 安汪

◎野田幾久代 光治 〇佐々木一夫 常見 干秋 悦郎

畑中 牧野幸太郎 忠夫 章男 〇木下

か

あるとすれば、

どの地域を

今後、工業団地の構想があるの 業用地適地調査の結果を踏まえ

いて、どう考えるか。

した労働時間短縮の必要性につ

死なども社会問題になっている。

ある。

このことは、

市民の多くが政

投票率が最低であったのは、

われ

ゆとりと豊かさの実現を目指

先進国の批判の的であり、

過労

挙の投票率はこれまでの最低で

において作用したのではないか

こうした傾向が、今回の選挙

ることも事実である。

考えているのか。

から四週六休制を実施し、平成

と考えるが、

市長はどのように

れたとは思われない。

件が重なったことが大きな原因 投票当日は雪が降るなどの悪条

で、特に私に対する批判が示さ

ややかに選挙を眺めていた結果 われ議員に対する批判として冷 治に携わる市長をはじめ、

市では、昭和六十三年十月

問

昭和六十三年度に行った工

字野政市郎 坂元

ついて

工業団地の構想に

総合病院対策特別委員会

砂子 三郎 金森 幸蔵

水行政対策特別委員会

◎平間

## 交通対策特別委員会

## ◎雨塚

# が進まないことも理解願いたい

労働時間は二千二百五十時間で

を見て

市議会議員選挙の

結果

継続性から貴重であるが、一方 して活躍されることは、市政の 議員が豊富な知識と経験を生か

で住民が新しい感覚を求めてい

問

日本の全労働者の平均年間

五十時間も多いといわれている。 あり、先進国に比較して約四百

こうした日本の長時間労働は

問

先日行われた市議会議員選

### ので、 医師会を抜きにしては話

# 進出する病院との協議が必要な

# 件で、行政・議会・市医師会と

関係者協議が整うことが前提条

向けての考え方 総実労働時間短縮に

員の労働加重にならないよう時

シュ休暇を実施する予定で、職

代に即した対応を積極的に進め

これは全国的な傾向と思われる。

議会活動に精通したベテラン

ており、今や新旧交代の時期で、

が施行されて約三十年を経過し

その背景として、地方自治法

(7)

ていきたい。

三連続日を休暇とする、リフレッ

また、本年四月から原則的に

られる。

名で、世代交代の現象が見受け

新人五名、現職十八名、

答 先の市会議員選挙の結果は

感じているか。

病院の建設認可のためには、

### 委 員 会報告

## 各委員長報告から

## 総務常任委員会

努めるべきである。 じないよう、納税意識の向上に 欠損処分になるなどの風潮が生 るとともに、五年の時効で不能 納者にはその督促の強化に努め ている原因の一つとして、ここ ○市税の滞納について たことがないことが上げられる。 税の公平の面からも悪質な滞 前年より滞納繰越額が多くなっ 市独自で滞納処分を行っ

## ○人事管理について

○意見書の提出について ないか等の意見が述べられた。 き事務は正職員をあてるべきで てはいないか、職員で対応すべ 革に基づく職員定数、行政事務 きるが、安易な雇用につながっ 事業の増大等その原因も理解で 託職員を雇用している。行政改 現在、かなりの数の臨時・嘱

関する陳情書」については、採 早期実現を求める意見書採択に 制定を求める意見書採択に関す 「実効ある育児休業法の早期 「日朝国交正常化の

> 致をみた。 見書を提出することに意見の一 択とし、別途、市会案として意

# 教育民生常任委員会

保護者負担となっている。 立と市立では入園料、 ○幼稚園の保育料について でその格差が大きく、不公平な 同じく幼稚園でありながら私 保育料等

〇公共施設の浄化槽の保守管理 する補助金の増額を図られたい。 是正の上からも私立幼稚園に対 れるので、公立と私立との格差 減少等から苦しいことが予想さ について 私立幼稚園の経営は園児数の

現状は十分にその機能を果たし めるべきである。 して、悪い個所の早期改善に努 の下水処理については十分留意 ていない個所が見受けられる。 は特に慎重を期すべきであるが 市民に範を示すべき公共施設 公共施設の下水処理について

## ○公害対策について

境課がその連絡を受けたのが非 公害対策の担当課である生活環 た企業が使用する薬品について 上庄地区に進出決定し

を密にすることが急務であり、 ともに、担当課相互の横の連絡 公害対策への認識を深めると

検討すべきである。 増額と公害対策専門家の配置も また公害対策関係予算の大幅な

われる。 囲の美観上も好ましくないと思 祉の面でも問題があり、また周 ている市営住宅は、入居者の福 ものであるが、現在の老朽化し 額を実態に近づくよう改正する 法の改正に準じ、入居収入基準 ○市営住宅について 今回の条例改正は、公営住宅

○水利権の確保について なあり方を検討すべきである もに、空家対策を含めた将来的 今後、市営住宅周辺の環境整 市街地への通水を確保するた 維持補修に万全を期すとと

得ることが重要ではないか。 交渉して、市としての水利権を とや農業水利権の残水に頼らざ 将来的には建設省や北陸電力と るを得ないためと理解できるが 用水組合の施設を利用するこ

本街路は早急に拡幅改良が求め かったためとのことであるが、 補償交渉がスムーズに行われな 許となっているが、これは移転 三番線街路改良事業が繰越明

## 建設常任委員会

金が計上されている。 め、土地改良連合会に対し交付

○三番線街路改良事業について

○陳情について られている重要幹線であるから 日も早い完成を望む。

市道編入については、 の確認を得ておくべきである。 ては事前にその敷地も含め地元 とであるが、市道の認定に当たっ までには地元で移設するとのこ 山神社の鳥居があり、 今回、横枕地区から出された 現道に白 道路改良

## ●産業経済常任委員会

農業集落排水について

度も佐開地区外四地区で工事が 施行される予定である。 区が供用開始となり、平成三年 当市の下水道計画については、 この事業は、すでに阿難祖地

るが、はっきりとその基準を示 の方式も検討するとのことであ 的に難しい地域については、別 集落排水事業で推進するとのこ 招くとの意見が述べられた。 しておかないと今後また混乱を があるのではないか。 とであるが、さらに検討の余地 市街地は公共下水道で、村部は また戸数が少ない集落や工法

る場の形成を行う事業である。 地域住民の要求に応じた魅力あ 生かしたイメージアップを図り、 この事業は、 商店街が特性を

> 必要である。 せて、景観を損なわない措置が 象となり、現在計画が進められ から、歴史的町並み保存とも併 また大野城も見える地点である 資源もあり、内山家とも近く、 いるが、その中には貴重な観光 当市では七間商店街がその対

きりと示すべきである。 また直接業者が販売するのかはつ うのか、土産品協会が行うのか、 ○石灯籠会館の運営について 石灯籠会館管理運営委員会が行 と、管理運営を委託する大野市 とであるが、販売を行うとなる 介だけで、販売等の記述がない。 品および観光物産等の展示や紹 灯籠会館の設置条例では、特産 詳しくは規則で定めるとのこ 観光拠点として建設された石

指導してほしい。 役割に終わることのないよう、 また、この会館が集会所的な



○ハイマート二十一モデル事業

について